

市政ニュース

全面かばん模様のラッピングバス（路線バス）が運行開始 「かばんのまち豊岡」のPRを担当します

3月28日、かばんの模様を全面にラッピングした路線バス（豊岡病院⇄戸牧第2団地⇄JR豊岡駅⇄法花寺）の出発式がJR豊岡駅前で行われました。

これは、市が、4月から始まる兵庫県大型観光交流キャンペーン「あいたい兵庫デザインネイションキャンペーン」に合わせ、来訪者に「かばんのまち豊岡」をPRするため、全但バスとまちごとカバンミュージアム実行委員会の協力を得て行ったものです。このバスは、1日11便走る



▲可愛いチェック柄のデザイン

団地バスで、県立コウノトリの郷公園も結んでいます。外から中の乗客は見えませんが、中から外はクリアに見える景色を楽しみながら乗車できます。

テープカットの後、早速、三江小学校の児童が乗り込み、大喜びで出発しました。市内には、既にかばん模様のラッピングを施した市街地循環バス「コバス」が運行しており、かばん模様のラッピングバスは2台になります。

また、4月7日には、豊岡商工会議所が、カバンストアリート（宵田）の空き店舗を利用して、靴販売の店「カバンアレー」をオープンさせました。市では、カバンのラッピングバスとこの店により、来訪者に「かばんのまち豊岡」を印象付け、特産業の観光資源化を推進し、産業観光の定着を図ります。

「コスモス荘」の閉荘式と「ことぶき苑」の閉苑式を開催 4月から、民営の養護老人ホームに変わります

市では、3月31日、市立養護老人ホーム「コスモス荘」（塩津町）の閉荘式と「ことぶき苑」（日高町祢布）の閉苑式をそれぞれ開催しました。

近年、社会福祉法人による老人福祉施設の整備・運営が進み、優れた経営が行われているので、両施設も社会福祉法人に移譲するものです。

これにより、効率的・効果的な運営と官民の適切な役割分担によるサービスの向上が

図れます。

式では、中貝市長が「4月1日から社会福祉法人の運営による民営化になります。利用者の生活は今までと変わりませんので、安心して過ごしてください」と話した後、それぞれの移譲先の代表者に施設の鍵を引き渡しました。



▲閉荘式での鍵の引き渡し

市職員の公共交通機関（e通勤）を始めました 大切な公共交通機関を一緒に守りましょう

市では、公共交通機関を維持確保するため、市職員モニターを募り、自家用車ではなく公共交通機関を利用して通勤する「e通勤」に4月から取り組んでいます。市長も、できる範囲で公共交通機関を利用する「e通勤」を行っています。

9月までのモニター試行期間に課題を整理し、10月からは、職員全体での実施に広げる予定です。また、市内の事

業者にも公共交通機関の利用を呼びかけていきます。自家用車でなく公共交通機関を利用することは、地球温暖化防止にもつながります。市民の皆さんも、地域の大切な交通手段である公共交通機関を守り、後世に残すため、積極的に利用ください。



▲バスで出勤する市職員

主な市政の動き

【3月】

- 14日・八代地区公民館に県民交流広場竣工
- 16日・プレミア付きコウノトリ商品券販売開始
- 18日・シンプル車検グループと災害時応急対策協定締結
- 22日・豊岡地区公民館県民交流広場竣工
- 28日・カバンラッピング路線バス（団地バス）運行開始
- 31日・市立養護老人ホーム「コスモス荘」閉荘式と「ことぶき苑」閉苑式

【4月】

- 1日・あいたい兵庫デザインネイションキャンペーンオープニングセレモニー
- 2日・ハチゴロウの戸島湿地オープン
- 7日・カバンストアリートに「カバンアレー」オープン
- 10日・日高子育てセンターリニューアルオープン
- ・コウノトリ商品券追加販売開始

八代・豊岡・神美地区公民館に県民交流広場を整備

公民館の機能がさらに充実しました

3月14日、八代地区公民館に県民交流広場が完成し、完成披露式典が行われました。

これは、防犯パトロールの拠点施設として、また、子どもたちと地域の人などとのふれあい、憩いの場所として建設されたものです。

当日は、八代小学校の児童が「八代村郷土歌」の合唱や和太鼓の演奏でオープンを祝いました。

また、3月



▲合奏・演奏で祝う八代小学校児童

22日、豊岡地区公民館に県民交流広場「憩い交流スポット」が完成し、竣工記念式典が行われました。

この施設は、住民の集い・憩いの場、河川美化の拠点、公民館利用者の自転車置き場などに活用します。

関係者は、この施設を拠点に戸牧川（廃川）の浄化運動が活発に展開され、コウノトリが舞い降りる姿を見ることを期待しています。



▲竣工式テープカット

さらに、3月28日には、神美地区公民館に県民交流広場「交流広場・いこいの広場」の竣工式が行われました。

これは、神美地区公民館を増築し、交流広場を設け、和室の一部をいこいの広場に改修したもので、多くの人が気楽に集い、語りあができるようになりました。

この施設の完成を、奥野区の皆さんが「奥野太鼓」で祝いました。



▲竣工を祝う「奥野太鼓」

日高子育てセンターリニューアルオープン 美しく、便利になった親子活動施設を利用ください

日高総合支所の3階に改修整備を進めていた日高子育てセンターが完成し、4月10日、リニューアルオープンセレモニーを開催しました。

セレモニーには、市のマスコットの「コーちゃん」、「オーちゃん」も参加し、整備関係者に子どもたちから感謝のプレゼントが贈られ、親子でダ

ンスなどをして祝いました。今回の改修で、広いホールができ、「なかよしランド」や「カンガルークラブ」などの子育てグループの活動ができるようになります。

また、子育てひろば「きつずらんど」も拡張し、壁の色も明るくなり、ロビー側からの出入りもできるようになり

さらに、ロビーには、休憩・昼食ができるコーナーや相談室、倉庫、子ども用トイレも新設し、より便利で、快適なセンターになりました。

また、子育てひろば「きつずらんど」も拡張し、壁の色も明るくなり、ロビー側からの出入りもできるようになり



▲オープンセレモニー

奥田副市長の飛び入り日記②

いいところを見つけよう

春は異動のシーズンです。

転入届で窓口に来られたある方の話、「市役所の窓口は親切ですね。転勤族ですが、こんなところは初めてです」。うれしい話ではありませんか。この時期、住民基本台帳の人口が大きく変わります。市広報紙の「主な行事」のペー

ジの末尾に毎月その動きが出ます。残念ながら4月1日現在の数は、前月に比べて299人減りました。人口を減らすな、魅力ある豊岡をと、市の仕事も多様な内容を求められています。新年度から、地域経済の元気を

目指して「経済部」を作りま

環境と経済が共鳴する「環境経済戦略」はもとより、北

